

平成22年度局配分枠予算について

教育委員会事務局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

教育委員会では、新しい時代を拓く全ての子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」を育む学校教育と、世代を超えて地域で学び合う生涯学習において、市民と共に汗する「共汗」で、全国をリードする教育改革に取り組んでいる。

22年度においても、厳しい財政状況のもと、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、正規職員が実施している業務の嘱託化・職員数削減などの効率化を進めながら、幅広い市民ボランティアや大学、経済界等の参画のもと、さらなる教育改革の推進と、京都創生策などの本市基本計画や京都未来まちづくりプランをふまえた事業展開を図る予算案とした。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

新学習指導要領に対応した小学校指導計画・補充発展資料作成	16,897千円
大学発教育支援コンソーシアム事業による教材・システム等の開発	8,000千円
幼稚園等における保健指導の充実	2,000千円
芸術系高校振興	5,000千円

<充実事業>

小・中学校における土曜学習	全体事業費 96,484千円（うち充実分 20,395千円）
小学生の長期宿泊・自然体験推進事業	全体事業費 39,016千円（うち充実分 18,701千円）
子どもを共に育む「親支援」プログラム	全体事業費 4,000千円（うち充実分 1,000千円）